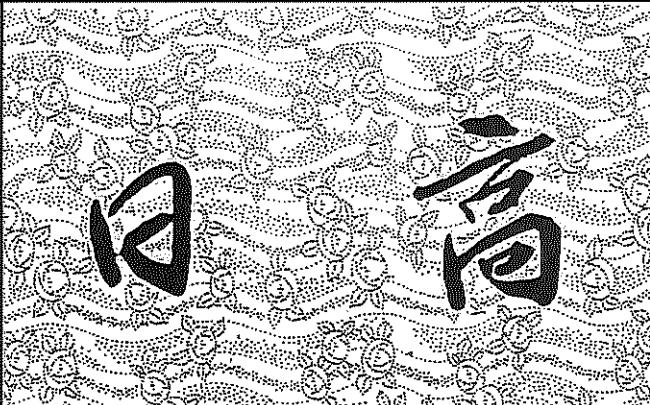


## 日 高 地 区 概 況

令和4年1月1日現在  
世帯数 9,481  
人口 21,993  
男 10,696  
女 11,297

\*この概要は日高支所管内の統計による



第204号

発行日 令和4年1月20日  
発行日 高学区市民自治会  
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/>  
代表者 志賀 勝 弘  
編集責任者 木田 源一  
印刷 おぎつ印刷

# レンクレーナイが準優勝！

日高学区の皆様あけましておめでとうございます。日頃より日高のまちづくり活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。私たちいま、新型コロナウイルス感染症の長期化により日常の生活のみならず地域の様々な活動をも制





志賀 勝弘

新しい年を迎えて

昨年12月18日、池の川さくらアリーナで第1回日立市長杯ラジオ体操コンクールが開かれ、日高学区から



元氣が湧いてはいま。—ア

約された状態が続いており、事業も、おんもさ祭りをはじめ予定した行事は中止や縮小を余儀なくされました。地域福祉活動などはコロナ感染症対策を行い、関係者の皆さんにご協力をいただきながら何とか実施していくますが、人と人との連帯感や絆が細くならないか心を痛めています。

10月からは防犯灯の日立市への移管、市報の全戸配布などが始まり、特に市報

オ体操連盟指導員の岡本さんをはじめとする審査員や300名ほどの中の観客、そしてNHKや各新聞社の報道陣を前に順番に演技を披露しました。

の全戸配布には日高学区独自のポスティング方式によるスタッフの方と地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。これを機に市民自治会の広報紙「日高」も学区内すべての世帯に配布し、より多くの住民の皆様に日高の情報が届けられ日高のまちづくり活動がさらに皆様に理解されることを期待します。今年こそコロナ禍のない明るい年になつてほしいと願つています。皆様のご多幸をお祈りいたします。



## 一糸乱れぬ見事な演技



願いを込めてギル・ギ焼き

1月10日　日高学区市民文化  
自治会では、日高交流センター広場で2年ぶりに「日高どんど焼き」を開催しました。例年「日高鳥追い祭り」の行事のひとつとして行われていましたが、昨年はコロナ禍の中で止む無く中止、今年は瘦病退治祈願として、蜜を避け、どんど焼きのみ開催しました。

とんとの火に

初中物理(九年级上)·人教

- \*新春顔合わせ会
- \*ふれあい鳥追い祭り
- \*手作りみそ教室
- \*交流センター門松作り
- \*交流センター掃除



行事予定

- (1月21日～3月20日)

新型コロナウイルスの感染状況により行事が中止になる場合があります。

日高学区市民自治会は、連合体で、支部役員は自会活動の重要な役職です。支部役員の構成、役割などを知らせします。

○支部役員の構成

支部長1人、副支部長1人、数町内会で構成される班毎に常任委員が1人、班を構成する各町内会の自治委員数人で構成されます。

**新年度支部役員の改選準備を  
届け出は2月末日までに**



### 講師の手元を真剣に見る

昨年12月9日、日高交流センターで恒例の折り紙教室が開かれました。講師は、折り紙歴40年の朝日正子さんです。参加者

の17名は「勇壮な寅を、可愛らしい寅を折るぞ」と期待に胸を膨らませて集合しました。

令和4年干支の寅でした。  
先生が手本折を示し、参加者が同じように折つたり、手くはいきません。難しいところは、先生の手を借り、最後に、目を付けると、様々な表情の寅が完成しました。

○支部役員の役割と任期  
支部長は会則で任期が2年と定められていて、支部の意見、要望を取りまとめ自治会本部と連携し、会議や行事に出席・参加します。

副支部長は支部長を補佐し、数種の会議や行事に出席・参加します。常任委員会は班の代表、自治委員は町内会の代表として、回覧板の配布や各種募金の取りま

とめを行ふとともに、数種の行事に参加します。昨年10月より市報等市の刊行物は専門の配布員による全戸配布となり、負担が軽減されました。副支部長・常任委員・自治委員とも任期は1年です。

○支部役員の選出

支部長の選出は、支部内で良く協議し選出してくだされ。副支部長・常任委員・自治委員は、各支部とも輪番制が多いようです。

○新役員の届け出は、現支部長が2月末日までに市民自治会事務局に提出して下さい。

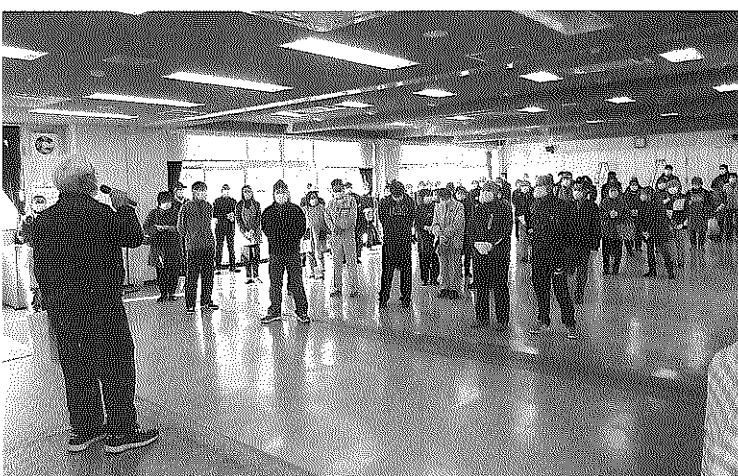
日となりました。朝9時集合で班分けと作業説明が有り、屋内組（体育館、交流センター1階、図書室、2階会議室）と屋外組に分かれ、それぞれの担当箇所を取りまとめ者の説明の後掃除に取りかかりました。

窓ガラスは既に専門業者によるクリーニング済みで照明器具は来年度にLED化されるため、掃除対象外で、作業が軽減されました。和室は障子を破らない様にほこりを落とし、畳を雑巾で拭き掃除しました。

屋外では、建屋の隙間の

願いを込めて折る  
令和十年十一月六日「富士」

# コロナ禍の中有志100人 交流センターの大掃除



### 清掃作業力所の説明を受ける

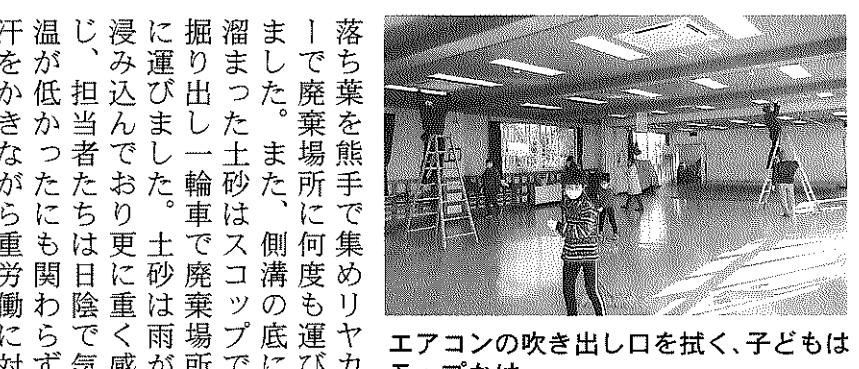
A black and white photograph of a modern interior space. The room features a large glass-enclosed fireplace as the central focal point. To the left, a sofa is positioned near a large window that offers a view of a city skyline at night. The floor is covered with a patterned rug, and there are some decorative elements like a vase on a side table.

新年を祝う松飾り  
日高交流センター

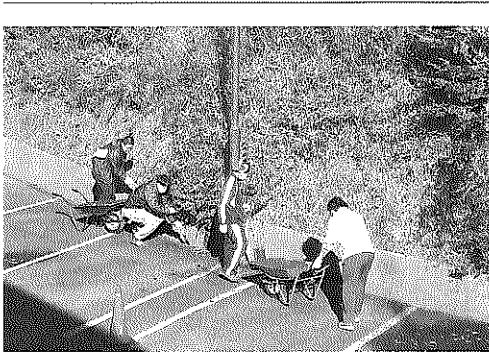
12月21日 日高交流センター  
一玄関に大きな門松が飾られました。門松は新年の年神様が家々に降りてくるときの目印としてお正月に家の玄関や門に飾るものです。今年も日高学区市民自治会有志により、あくまで手作りに拘り孟宗竹・松・梅・南天・笹など地元材料で約高さ2.6m、直径0.8mの立派な門松が仕上がりました。

門松製作には、新型コロナの早い終息や無病息災と安心安全で明るい生活が迎えられるよう作者さん達の願いも込められています。

日高交流センターは地域の皆さまの交流の場所です。この門松に願いを込めて一緒に新年を迎えましょう。



エアコンの吹き出し口を拭く、子どもは  
手一握れば



## 駐車場側溝の泥揚げ

応していました。庭や体育館の周りは主に雑草を除去する作業でした。作業終了後、お茶と饅頭で勞がねぎらわれました。通常利用している交流センターが自分たちの手で綺麗になり、新年を迎えることができました。

# にこにこクラブでは、こんな活動をしていきます



ポケットボールゲームを楽しみました

にこにこクラブは、日高学区市民自治会社会福祉委員会ふれあい事業部の高齢者等に対する健康づくり支援事業です。

介護サービスを受けていない65歳以上の高齢者を対象に、介護予防を目的として毎月第2・4水曜日の10時から日高交流センターで活動しています。

現在は、会員25名、ボランティア14名が登録しています。

指導には、日立市社会福祉協議会の看護師とふれあい健康クラブ指導員があたっています。

コロナ禍の活動ということもあり、室内換気や密を避ける、除菌などボランティア全員で配慮しながら行っています。

参加者は検温と手指消毒を済ませ、順次、看護師による健康チェックや血圧測定を受けます。全員揃うと、体操で徐々に身体をほぐしていきます。体操で体温を上げて、水分補給後ゲームを行います。ゲームの内容は日によって変わりますが、大抵チーム戦の全員参加型で毎回笑いが絶えず楽しい

（敬称略・順不同）  
赤い羽根募金  
大口奉仕者芳名  
永井直規・茨城県信用組合  
日高支店・宇佐美吉郎・齊藤金四郎・株茨城環境企業・志賀勝弘・見城美智子  
（有）大高工務店・（有）大森商店  
櫻村守・石堂徳明・玉喜屋  
工業株・木田金房・矢部一良・海老沢清・下平優・江幡敏夫・豊田清明・志賀信夫・石井慶昭・エイチシー・ネットワークス株・小澤邦子・深澤嘉子・宇佐美寿郎  
ご協力に感謝申し上げます

様子が伝わってきます。参加者からは「毎回楽しみにしています。」との声が届いています。

にこにこクラブの活動は、がら身体を動かしたり笑ったりして、高齢者の健康維持に役立っているようです。

電話詐欺・交通事故多発にこにこクラブで注意喚起

12月8日は活動時間を少し延長して、市交通防犯課防犯サポートの講話を聴きました。日立市内では、80歳代の女性が400万円の被害を受けてしまうなど、電話詐欺が後を絶たないそうです。被害回避の対策として、留守番電話機能を利用して電話に出ないようにするのが一番良いそうです。万が一、不審な電話がかかってきたら、長電話をしない、警察に情報提供すると被害の大を防ぐ効果があるそうです。

【不動の滝の不動明王】  
西町集落奥にある不動の滝前に不動明王の石仏があります。

【N.H.K大河ドラマ武蔵（平成15年）のロケ地となる】

次に、高齢歩行者の交通安全について話がありましたが、道路横断時の事故を防ぐには、横断歩道を渡ること、特に、夜間の歩行は白っぽい服装や反射材をつけて目立つように工夫をするなど、視覚や聴覚を使いつかり確認し、運転手に気づいてもらうことが大切の

被害に遭わないためのポイントをおさえ、安心安全な生活を心がけたいものであります。

## 郷土ひたか

(16)

石蕗の花生けしホテルの片隅に

青木 照美

実千両庭に曾孫のはしゃぐ声

勝間田菊江

部屋中に神々御座す松の内

小島シン子

小春日や良き日誘われ寺めぐり

斎藤金四郎

石蕗の花精一杯に生きる日々

鈴木 禮子

石蕗の花沖の波乗り励ませり

田山 陽一

爽籠や免許返納半壽過ぎ

藤田美津子

山茶花の咲いて常陸野華やげり

古館 英男

生垣の隙間に咲くや石蕗の花

横倉 省三

取り調査報告」より抜粋

## 文芸ひたか

日高俳句会



太古の昔から途絶えぬ流れ



「何を守ろか」不動明王

田高中 横山千里希さん

「コンクール」の作品において、日高千恵子は横山中2年

本紙発行の数日後には、  
全国大会へ出品されます。

8位 5位 4位  
卓球男子  
バレーボール女子  
卓球女子

東連津

「令和3年度茨城ものづくり教育フェア児童・生徒

横山さんは作品について  
「外出用に手頃なバツクが



#### 教育長賞を受けたパッチワークの1dayバック

は、小さな布を組み合わせて一枚の布にする根気のいる作業です。夏休みに1週間ほどかけて、作成しました」と説明してくれました。横山さんの自宅には手芸用の布がたくさんあります。幼い頃から手芸に興味があつたそう

正月は心を込めた  
手作りのお飾りで

師走の風が冷たさを増した。昨年12月19日、2年ぶりに正月用のしめ飾りを作るわら細工教室が交流センターの体育館で開催されました。

木田勝壽さんからのゆずり葉、そして事務局が用意したしめ飾り用の装飾セットが多数用意され、参加者はそれらを受け取ると体育館の床に敷かれたシートとござに間隔をあけて座り作成開始です。

作成指導は例年どおり、根本則子さんと志賀勝弘会長で、縁起物の作成にふきわしく賑やかな解説で会場を盛り上げながら、参加者の間をめぐりつつ指導を行いました。

参加者の多くが経験者で、約1時間半もすると全員がしめ飾りを完成させることができました。

の3名が発起人になり、水府「愛農会」のそば打ちクラブで学んだ技術を生かし日高麵棒クラブを立ち上げました。10名の会員から始まり、学区外からも習いをいたい要望もあり、毎月第4金曜日に20名前後が根本さきの指導で二八そばを打ち、打ちたてのそばを食べ、そば談義に盛り上がるひと時でした。年越しそばの時期には、皆さん普段より多く打

なお日高文化祭では会員によるそば打ち実演を披露し生そばを販売しました。コロナ禍により2年間で開けたのは2回。指導者等の高齢化、会員のそば打ち技術向上により自立できる様になつた事などから会を開じるに至つたと根本さんは話していました。

日高で60年以上の長きにわたり書道教室を開いてこられた豊田ハマさんは日立市弁天町に生まれ、小さい時からご両親の教育方針で書道、そろばん、お花やお琴等の習い事をされてきました。

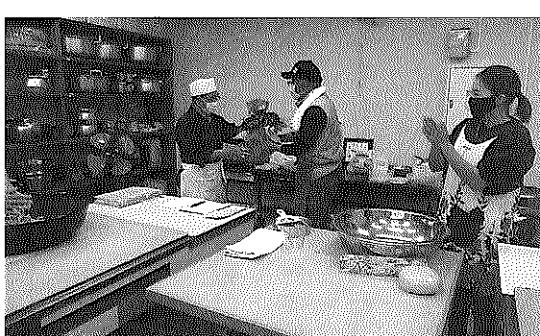
出会いだつたそうです。  
その願いを持ち続け、20歳頃に現在の日高町に実家が移つたのを機会に、日立電線日高工場の子弟に教えることをはじめ、その後幼稚園、小学、中学校から頼まれて書道を指導してきました。教え子の人数は数えきれず中には既に還暦を迎えた方もいらっしゃるそうですが、

今でも、小中学校の表彰状や卒業証書、そして日高市民自治会の行事で掲げられる横断幕も手掛けており、日高地区の住民はどこかでお世話になつてゐるようですが、これまで数々の展覧会で受賞されてきましたがその創作意欲は益々旺盛で、今後も日展や県展等多くへの挑戦を考えているそうです。

## 田高麗棒クラブ

17年の活動に言

そば打ち教室でおなじみの「日高麺棒クラブ」が12月17日で惜しまれながら解散しました。そば打ち指導者で、クラブの代表でもある根本東洋男さんに話を伺いました。



記念の花を送られる根本東洋里さん

ここ2年は、コロナの影響で自治会の行事の多くが中止となり、広報ひたかの記事集めにも苦労しました。またそれらの行事が地元の人々を結びつける大事な役割を担っていたことも痛感しました。今年はどうなるのか、消極思考を徐々に脱し積極的にコロナとの共生の道を模索していく年にしたいと思います。（田所）

なお日高文化祭では会員によるそば打ち実演を披露し生そばを販売しました。コロナ禍により2年間で開けたのは2回。指導者等の高齢化、会員のそば打ち技術向上により自立できる様になつた事などから会を開じるに至つたと根本さんは話していました。

## 「ふれあい

福祉 ふれあい事業部  
太田 康夫

と思っています。  
こどもたちの明るい声  
が街中に響き、行き交う  
人々の挨拶や会話があち  
こちで聞こえる、そんな  
地域に住み続けたいもの  
です。